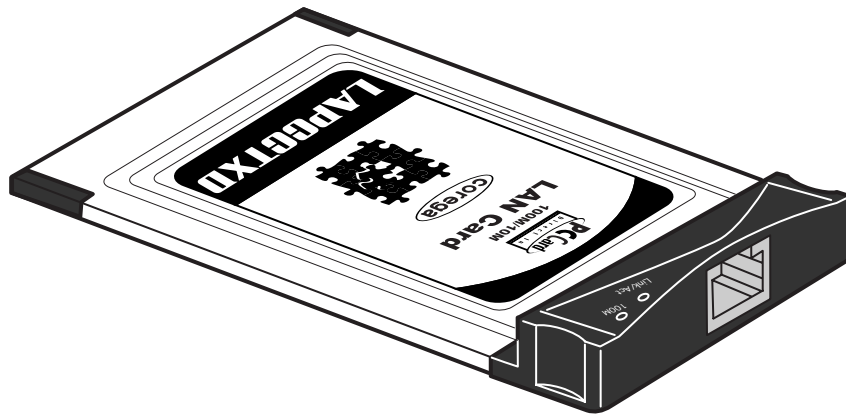
CG-LAPCCTXD

詳細マニュアル

Windows 98SE 編

PN Y613-04664-04 Rev.A

1. Windows 98SEへのインストール

本製品のドライバをWindows 98SEにインストールする手順を説明いたします。ここでご紹介する手順は、ネットワークアダプタ用ドライバを含む、ネットワーク環境がまったく構成されていない状態を前提としておりますので、予めご了承ください。

以下の手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。また、本書では DOS/V、PC98-NX へのインストールを例にして説明します。

1-1 用意するもの

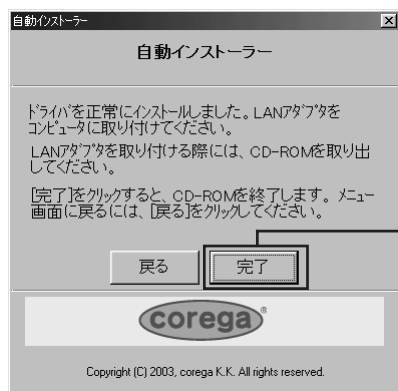
· 本製品
· LAN ケーブル
· 本製品のユーティリティディスク（CD-ROM）
· Windows 98SE の供給メディア（CD-ROM またはフロッピーディスク）
· PC カードスロットを装備しているパソコン（Windows 98SE インストール済み）

Windows 98SE がパソコン購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されているときは（プリインストール版）、Windows 98SE のバックアップ CD-ROM が付属していることをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していないときは、安全のため、必ずフロッピーディスク等に Windows 98 のバックアップをとった後でドライバのインストールをはじめてください。バックアップの手順は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

1-2 ドライバの新規インストール

1 本製品をパソコンのPCカードスロットに取り付けていない状態で、パソコンの電源をオンにし、Windows 98SEを起動します。

2 パソコンのCD-ROMドライブに本製品のユーティリティディスクを入れます。

3 自動的に次のような画面が表示されます。表示されない場合は「マイコンピュータ」－「CD-ROMアイコン」の順にダブルクリックしてください。

4 「続行」をクリックします。

5 「完了」をクリックします。

6　ユーティリティディスクを取り出し、本製品をパソコンのPCカードスロットに挿し込みます。

7　ドライバ情報データベースが更新されます。

8　お使いの環境によってはWindows 98SEのCD-ROMを要求するダイアログボックスが表示されますので、表示された場合はWindows 98SEのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、「OK」をクリックします。

8　パソコンを再起動します。

9　以上でドライバのインストールは完了です。引き続き、インストールの確認にお進みください。

1-3 インストールの確認

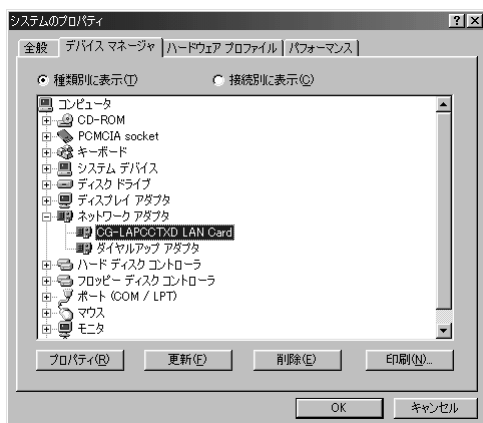
インストール完了後、ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

●デバイスマネージャによるインストールの確認

1　「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

2　「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックします。

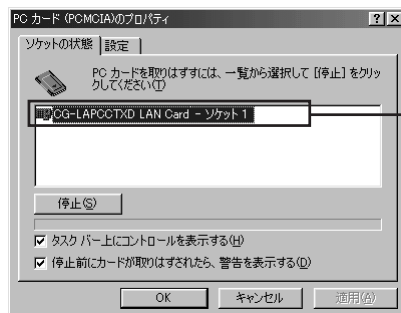
ダブルクリックします。

3　「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」アイコンの左の「+」をクリックします。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「CG-LAPCCTXD」が表示されます。

注意　**本製品のアイコンに「×」「？」「！」などのマークが付いていたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあるときは、インストールに失敗しています。詳しくは「トラブル解決Q&A」の「ドライバのインストール」をご覧ください。**

4 「CG-LAPCCTXD」をダブルクリックし、「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。

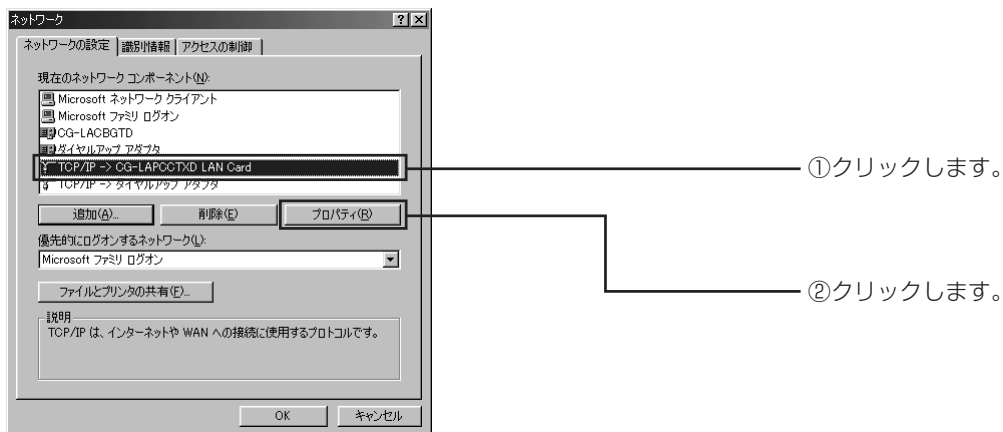
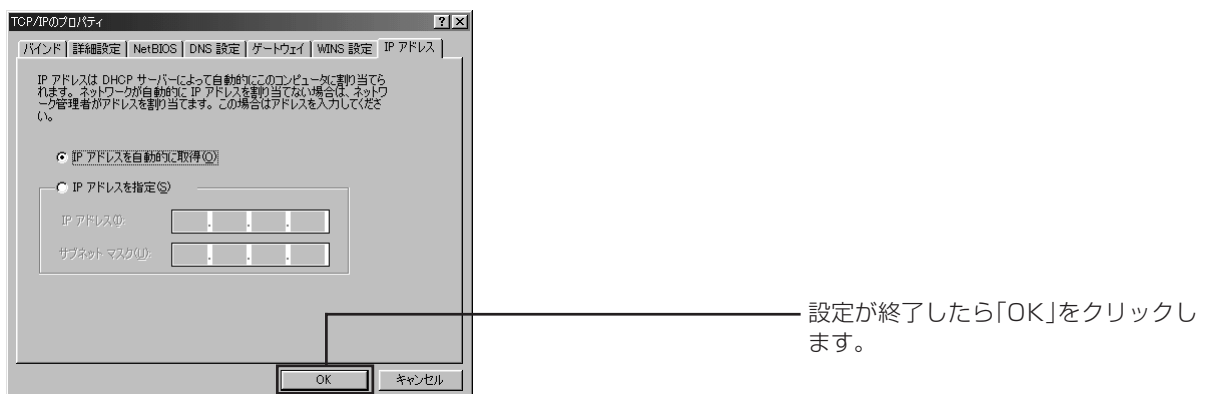
6 以上でインストールの確認作業は完了です。

●PCカード(PCMCIA)による確認

「コントロールパネル」の「PC カード（PCMCIA）」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「CG-LAPCCTXD」が表示されていることを確認してください。

●ネットワークの設定

お使いのネットワークに関する設定を行います。

1　「コントロールパネル」－「ネットワーク」をダブルクリックします。

2　「TCP/IP → CG-LAPCCTXD」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

3　TCP/IPの設定をお使いのネットワークにあわせて行います。設定が終了したら「OK」をクリックします（画面は一例です）。

4　手順２の画面に戻りますので、の「OK」をクリックして設定を終了します。

1-4 ドライバの更新

弊社のWebページ（http://www.corega.co.jp/）などから最新のドライバを入手したときは、下記の手順に従ってドライバを更新してください。

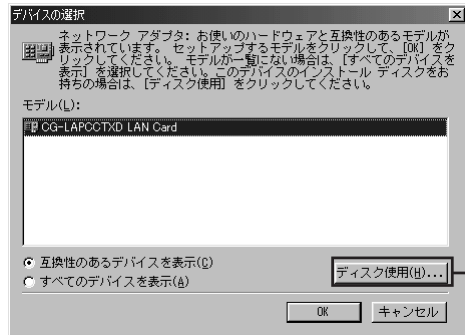
1 「コントロールパネル」－「システム」をダブルクリックします。

2 「デバイスマネージャ」で「CG-LACBGTD」をダブルクリックします（「デバイスマネージャ」の表示方法はP.3をご覧ください）。

3 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックします。

4 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されるので、「次へ」をクリックします。

5 「特定の場所にあるドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。

6　次の画面が表示されるので、「ディスク使用」をクリックします。

7　「参照」をクリックし、最新のドライバが保存されているフォルダを指定した後、「OK」をクリックします（この例では入手したドライバが「C:¥COREGA¥LAPCCTXD¥W98SE」に保存されていると仮定しています）。

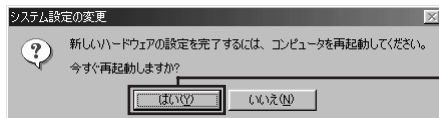
8　手順６の画面に戻りますので、「OK」をクリックします。

9　「デバイス用のドライバファイルの検索」欄に「CG-LAPCCTXD」が、「ドライバのある場所」に入手したドライバの保存場所が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

注意　**「○○○が見つかりません」などと表示された場合は、「ファイルのコピー元」に「C:¥COREGA¥LAPCCTXDD¥W98SE」と入力し、「OK」をクリックします（最新ドライバ格納先が「C¥COREGA¥LAPCCTXD¥W98SE」の場合）。**

10 お使いの環境によってはWindows 98SEのCD-ROMを要求するダイアログボックスが表示されますので、表示された場合はWindows 98SEのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、「OK」をクリックします。

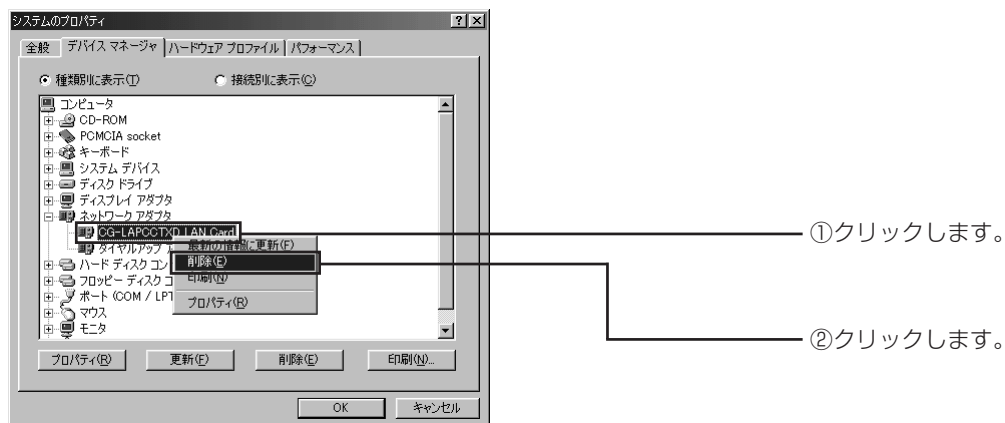
10 ドライバの更新が終了したら「完了」をクリックします。

11 再起動を促すダイアログボックスが表示されるので、「はい」をクリックし、パソコンを再起動します。

12 以上でドライバの更新作業は完了です。

1-5 ドライバの削除

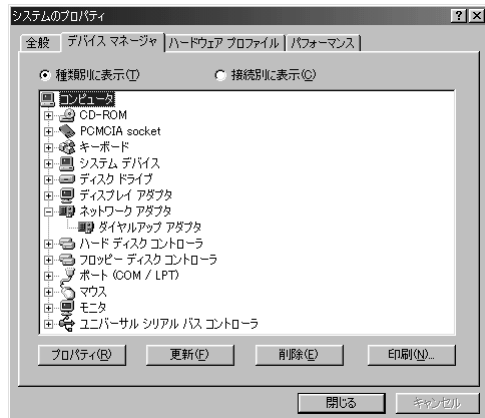
ドライバを削除する時に本製品が取り外されている場合、本製品を一度PCカードスロットに挿入し、手順にしたがってドライバを削除してください。

1 「コントロールパネル」－「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」を表示させます（「デバイスマネージャ」の表示方法はP.5をご覧ください。）。

2 「ネットワークアダプタ」アイコンの左の「+」をクリックし、「CG-LAPCCTXD」を右クリックして「削除」を選択します。

3 「デバイス削除の確認」画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

4 再起動を促すダイアログボックスが表示されますが、ここでは「いいえ」を選択し、Windows 98SEを終了し、パソコンの電源をオフにします。

5　パソコンの電源がオフになったら、パソコンのイジェクトバーを押して本製品を取り外します。

6　再びパソコンの電源をオンにし、「デバイスマネージャ」で本製品のアイコンが消えていることを確認してください。

7　以上でドライバの削除の手続きは終了です。

1-6 ドライバの再インストール

ドライバの再インストールを行うときは、ドライバを一旦削除してから行います。ドライバのインストールに失敗したときも、インストールされたドライバを削除してから再インストールを行います。ドライバの再インストールする手順は以下の通りです。

1　「1-5　ドライバの削除」（P.11）の手順にしたがい、本製品のドライバを削除します。

2　「1-2　ドライバの新規インストール」（P.3）の手順にしたがい、本製品のドライバをインストールします。

2. 設置・接続

・本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。
・本製品の内部には、最新のIC類が使用されています。ご使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意してください。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。
・雷が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。
・スタンバイ状態への移行時、復帰状態への移行時に本製品やLANケーブルの抜き差しを行わないでください。また、スタンバイ状態からの復帰時、パソコンへの機種によっては、本製品が正常に動作しないものがあります。スタンバイ状態への移行時や、スタンバイ状態からの復帰時の不具合つきましては、サポート対象外とさせていただきます。

2-1 PCカードの挿入・取り外し

Windows 98SEでは、パソコンの電源をオンにしたままカードの抜き差しを行うことができますが、その際にいくつかの注意点があります。PCカードの挿入・取り外しを行うときは、必ず下記の手順にしたがって作業を進めてください。

パソコンの機種によっては、イジェクトバーなどがPCカードの挿入・取り外し操作に干渉することがありますのでご注意ください。

●PCカードの挿入

1　「corega」のロゴが印刷された面を上にして、本製品をパソコンのPCカードスロットに挿入し、「カチッ」と手応えがあるまで押し込んでください。

パソコン機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着すると、本製品やご使用のパソコンの故障の原因になります。PCカード装着に関しては、必ずご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2　本製品をPCカードスロットに挿入すると、Windows 98SEはプラグアンドプレイ機能により本製品を自動的に検出します。

本製品用のドライバのインストールをまだ行っていないとき（初めて本製品を挿入したとき）は、ドライバのインストールが開始されます。ドライバのインストールについては「1-3 ドライバの新規インストール」（P.3）をご覧ください。

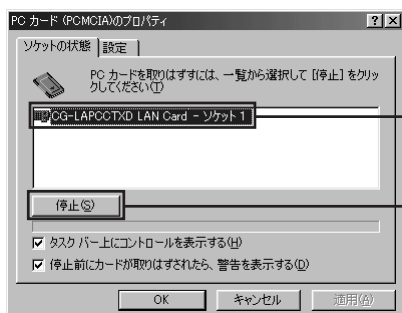
●PCカードの取り外し

Windows 98SEでは、パソコンの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができますが、パソコンの電源がオンの状態で本製品を取り外すときは、必ず以下の手順で行ってください。

以下の手順を守らなかったときは、パソコンのハングアップやファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザサポートの対象外とさせていただきます。

1　ネットワークと通信を行っているアプリケーション（Webブラウザやメールソフトなど）を全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。

2　タスクトレイ（通知領域）の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをダブルクリックします。

3　「CG-LAPCCTXD」を選択し、「停止」をクリックします。

4　ダイアログボックスが表示されますので、「閉じる」をクリックします。

6　パソコンのイジェクトバーを押してください。本製品がPCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

2-2 LANへの接続

雷が発生しているときは､本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください｡落雷により感電する恐れがあります｡

1　LANケーブルの一方の端に付いたプラグを、本製品のRJ-45モジュラージャックに「カチッ」と音がするまで差し込みます。差し込む際にはLANケーブルの両端のプラグのどちらを差し込んでもかまいません。

LANケーブル（UTPケーブル：シールドなしツイストペアケーブル）はエンハンスド・カテゴリ5以上のものをおすすめいたします。

2　LANケーブルを引っ張って、抜けないことを確認します。

3　LANケーブルのもう一方のプラグをハブ（またはスイッチ）のモジュラージャックに差し込みます。手順は上記の手順1および手順2と同様です。

接続した対向機器（ハブまたはスイッチ）との状態が正常であれば、本製品（CG-LAPCCTXD）側はLink/Act LEDが点灯（緑）します（データを送受信すると点滅（緑）になります）。なお、Link/Act LEDが点灯しないときは、「トラブル解決Q&A」の「ネットワークのトラブル」をご覧いただき、ご使用のLANケーブルや接続先機器を再度ご確認ください。

●LANケーブルの外し方

プラグのツメを指で押さえながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

2005年1月　初版